中学校

2026 年度

手紙の書き方 体験授業

双方向同期型

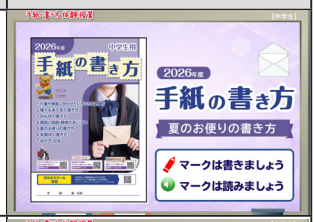
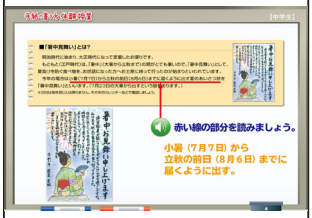
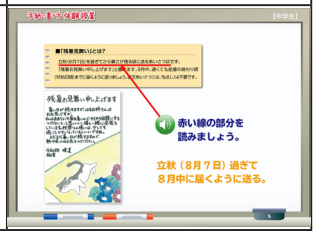
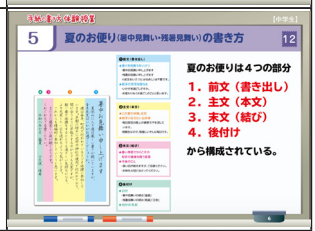
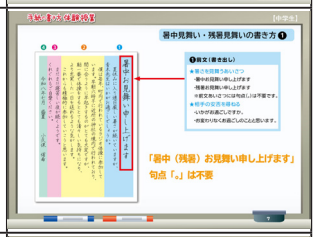
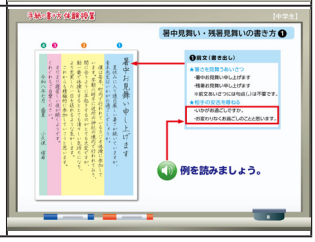
©JAPAN POST Co., Ltd.
※ぽすくまは日本郵便のキャラクターです。

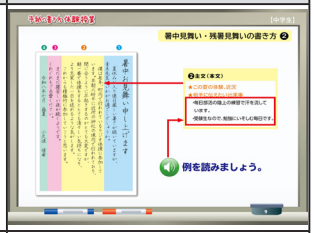
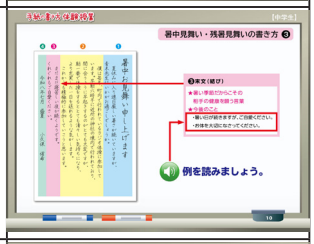
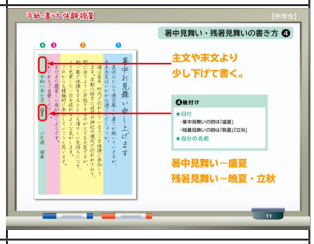
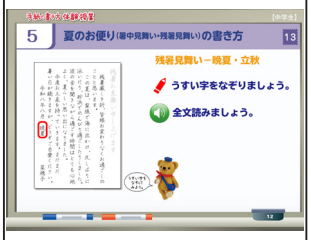
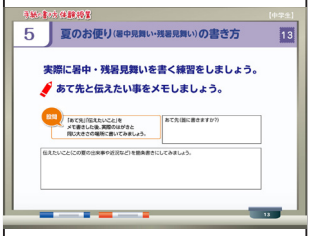
夏のお便りの書き方 指導書

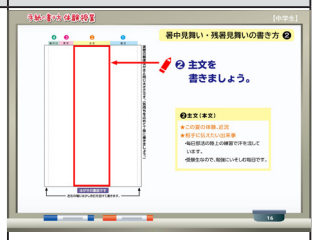
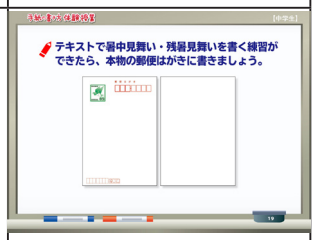
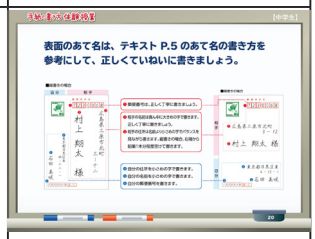
1. 対象学年	中学校１～３年
2. 配当時間	１～２時間（１～３時間でもよい）
3. ねらい	①暑中見舞い、残暑見舞いの手紙の書き方を知る。 ②実際にはがきに書く。

手紙の書き方 体験授業

※オレンジ文字は双方向同期型の留意点です。

時間（分）	発問・指示	留意点	画面
0~1	「手紙の書き方」中学生用テキストを使って、「夏のお便りの書き方」を学習します。 テキスト、はがき、筆記用具を出しましょう。	Google Meet や Zoom で生徒がミーティングに参加していることを確認する。 教師がテキストの表紙、はがき、筆記用具を見せる。	
2	夏のお便りの例がのっています。 夏らしい絵が描かれていますね。		
3~5	12 ページ、13 ページ 「夏のお便りの書き方」を開きましょう。 13 ページ右上の QR から見られます。 参考にしましょう。 夏のお便りには、暑中見舞いと残暑見舞いがあります。	教師がどの部分か示す。 生徒が開けているかどうかを確認する	
6	「暑中見舞いとは」のところを見ましょう。 暑中見舞いは、夏負けを防ぐ「食べ物」をお土産に持って行ったのがはじまりと言われています。 赤い線のところを読みましょう。 暑中見舞いは、7 月の小暑から、立秋の前日までに届くように出します。日付は毎年同じとは限りません。	ミュートになっていないかを確認する。 各自読ませたり、指名して読ませたりする。	
7	「残暑見舞いとは」のところを見ましょう。 赤い線のところを読みましょう。 残暑見舞いは、立秋を過ぎて、8 月中に届くように送ります。 このように、暑中見舞い、残暑見舞いは送る時期に気を付けましょう。	各自読ませたり、指名して読ませたりする。	
8	暑中見舞い、残暑見舞いの書き方について学習していきます。 どちらの文も、4 つの部分から構成されています。	赤字の構成を読ませてもよい。	
9~10	①の水色の部分は、前文（書き出し）です。 前文には、暑さを見舞うあいさつと相手の安否をたずねる文を書きます。 「暑中お見舞い申し上げます」「残暑お見舞い申し上げます」の前文のあいさつには、句点「。」はつけません。		
	前文の「相手の安否を尋ねる文の例を読みましょう。 ・いかがお過ごしですか。 ・お変わりなくお過ごしのことと思います。	ミュートになっていないかを確認する。 各自読ませたり、指名して読ませたりする。	

時間（分）	発問・指示	留意点	画面
11	②は主文（本文）です。 この夏の体験や近況、相手に伝えたい出来事などを書きます。 例を読みましょう。 ・毎日部活の陸上の練習で汗を流しています。 ・受験生なので、勉強にいそしむ毎日です。	各自読ませたり、指名して読ませたりする。	
12	③は末文（結び）です。相手の健康を願う言葉や今後のことを書きます。 例を読みましょう。 ・暑い日が続きますが、ご自愛ください。 ・お体を大切になさってください。	各自読ませたり、指名して読ませたりする。	
13	④は後付けです。日付、 暑中見舞いの時は、「盛夏」 残暑見舞いの時は「晩夏」「立秋」と書き、自分の名前も書きます。 主文や末文より少し下げて書くのがマナーです。	各自読ませたり、指名して読ませたりする。	
14~15	13 ページの左下の残暑見舞いのお便りを見てみましょう。 残暑見舞いの後付けは「晩夏」や「立秋」でしたね。 「残暑お見舞い申し上げます」の薄い字をなぞりましょう。 なぞったら、全文読んでみましょう。 夏のお便りの「暑中見舞い」と「残暑見舞い」について分かりましたか。 送る時期に気をつけて、書いてみましょう。	なぞっているか、画面で確認する。 各自読ませる。	
16~20	実際に暑中見舞いや残暑見舞いを書く練習をしましょう。 暑中見舞い、残暑見舞いのどちらを書きますか？ 送る時期が違いましたね。 13 ページの設問「あて先」「伝えたいこと」をメモ書きしましょう。 あて先（誰に書きますか？） 伝えたいこと（この夏の出来事や近況などを箇条書きにしてみましょう）	どちらにするか決めさせ、挙手させる。 2～3人指示して意見を聞く。 メモが書けない子へはアドバイスする。	
21	メモが書けたら、ヒントを参考に実際の郵便はがきと同じ大きさで書く練習をしましょう。 13 ページの右下のところです。	教師がどの部分か示す。	
23	①前文（書き出し）の部分を書きましょう。 「暑中お見舞い申し上げます」 「残暑お見舞い申し上げます」はやや大きめに書きます。 では書きましょう。	教師がどの部分か示す。 書けているか画面で確認する。	

時間（分）	発問・指示	留意点	画面
28	②は主文（本文）です。 この夏の体験や近況、相手に伝えたい出来事などを書きます。 では書きましょう。	書けているか画面で確認する。	
30	③は末文（結び）です。 相手の健康を願う言葉や今後のことを書きます。 では書きましょう。	書けているか画面で確認する。	
32	④は後付けです。日付と自分の名前を書きます。 暑中見舞いの時は、「盛夏」 残暑見舞いの時は「晩夏」「立秋」と書くのでしたね。 主文や末文より少し下げて書きます。 では書きましょう。	書けているか画面で確認する。	
40	テキストで暑中見舞いや残暑見舞いを書く練習ができましたね。 次は、実際に郵便はがきにていねいに書いてみましょう。	教師がはがきを提示し見せる。 生徒のはがきも提示させ、画面で確認する。 書けない生徒には、アドバイスする。	
43	はがきのあて名は、テキスト５ページのあて名の書き方を参考にして、正しく丁寧に書きましょう。	教師がテキスト５ページを提示する。	
45	暑中見舞い、残暑見舞いが書けたら、ポストに入れましょう。 あなたの思いが相手に伝わるといいですね。	生徒が最後まで学習できたか、画面上で確認する。 書けた夏のお便りについて、発表させ交流させてもよい。	